



未来の先生展  
2017

# iPadで学ぶ！先生のための “プログラミング教育” 体験ワークショップ

ワークショップ形式

開催日時

2017年 8月 26日(土) 14:20-15:50

場 所

武蔵野大学有明キャンパス 1号館 2F 205教室

講 師

平井 総一郎（情報通信総合研究所）

## 内容

2020年より小学校で必修化となることが決まった「プログラミング教育」。保護者向けのアンケート調査（イーラーニング研究所調べ）で「2017年に子どもにさせたい習い事」の第1位に選ばれるなど、いま“プログラミング”が保護者の人気を集めています。一方でこれから授業を行うこととなる教員からは「何をどう教えればいいのかわからない」「自分に教えられる自信がない」といった不安の声も少なくありません。本ワークショップでは、iPadを用いたプログラミング授業の実践例を楽しみながら体験。子供たちの創造性や主体性を引き出すツールとしてのプログラミングの可能性を実感していただきます。

## ここに注目！

「プログラミング教育」という言葉だけを聞いて、漠然としたイメージから不安を頂いている先生も多いのではないのでしょうか。小学校段階におけるプログラミング教育に求められるのは、「プログラミングを学ぶ」のではなく「プログラミングで学ぶ」というスタンス。算数や国語といった教科の理解を深めるためにプログラミングをどう授業に組み込むか。どのように指導案に落とし込んでいけばいいのか。具体的なイメージを描いて頂くとともに、実際の授業の中でプログラミングを扱う際のポイントをお伝えします。

## プロフィール



小学校・中学校・高校・大学・専門スクール・学習塾、それぞれの領域で日本を代表する先駆者が集まり結成された教育者チーム。「教育 ICT を通じて“新しい学び”を提案する」をスローガンに、実践の中で培われた経験やノウハウを、全国のイベントやセミナー、メディア等を通じて広く情報発信している。

□ 教育 ICT を通じて「新しい学び」を提案する教育者チーム“iTeachers”（アイ・ティーチャーズ）

<http://www.iteachers.jp/>

## 参加者へのメッセージ

「答えのない時代」を生き抜くための力がいまの子供たちに求められています。そのためには、従来の知識重視型の教育から、思考力・判断力・表現力といった新たな学力を育む、生徒主体の学びへの転換が不可欠です。でも、いまの学校現場における変化は十分と言えるのでしょうか？ iTeachersは、教育現場におけるICT（情報通信技術）の活用を普及・推進するイベントや情報発信を行ってきました。多くの実践事例を通じて、ICT活用は生徒主体の“新しい学び”への転換を進める大きな原動力となることを確信しています。3年後に始まる「プログラミング教育」を子供たちにとって実のあるものにできるかどうか。本ワークショップを通じて、“新しい学び”に前向きに取り組み先生たちに、次なる一歩を踏み出すヒントを提供したいと考えています。

